

校名：宮城教育大学附属特別支援学校

所在地：〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 395-2

電話番号：022-214-3353

記載日：平成 28 年 5 月 1 日

記載者：田野崎 健

記載者役職：副校長

貴校の校風、おおまかな特色について：

大学キャンパス内にあるため、大学教官はもとより特別支援教育専攻の学生をはじめとする多くの学生が身近であり、教育活動の多くの場面で連携・活用が図られている。

貴校の卒業生の活躍状況について：

○過去3年間の高等部卒業生進路先

- ・平成25年度卒：一般就労3人，就労継続支援A型1人，同B型2人，生活介護2人
- ・平成26年度卒：一般就労4人，就労継続支援A型1人，同B型2人，生活介護2人
- ・平成27年度卒：一般就労2人，就労継続支援B型4人，生活介護1人

○卒業生の進路先は、本校高等部が全ての情報を把握している。卒業後に主うるさき等が変わった卒業生の情報については、毎年開催される同窓会で情報収集できるようになっている。

○本校では、卒業後3年間は進路指導主事が中心に進路先を訪問して卒業生の様子を見学したり、当該担当者と情報交換を行ったりのアフターケアをしている。また、夏休みを利用して希望教員を募って卒業生進路先訪問を実施し、卒業後の生徒の働く生活の様子について見識を広げる取り組みを実施している。

貴校勤務経験者の先生方が公立学校・教育委員会などへ戻られた後の活躍状況について：

本校勤務経験者の追跡調査は行っていないが、各地域での研究大会で実践発表や司会などに当たって活躍している。

また、県教育委員会や教育事務所の指導主事として任用されており、特別支援教育推進の指導的立場として指導者・助言者に当たっている。

魅力のある、特色のある、または、今後、公立学校へも展開できそうな先導的な取り組みなどについて：

○附属幼・小・中に在籍している特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒を対象とした、通級指導教室（さぽーとルーム）を開設している。

【主な業務】

- ・特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒の取り出し指導
- ・教育相談（保護者，教職員）
- ・附属幼・小・中教員向け特別支援教育研修会の実施
- ・保護者向け特別支援教育理解推進セミナーの実施
- ・附属4校園特別支援教育コーディネーター連絡会議（年5回）による情報共有
- ・附属学校特別支援部会の開催

○発達が気になる幼児の保護者や保育士・幼稚園教諭等に対する支援として、「杉の子教室」を開催

- ・対象：発達が気になる幼児の保護者
発達が気になる幼児を担当している保育士・幼稚園教諭
発達が気になる幼児の養育に関わる方や子育てに悩みを抱えている方
- ・内容：大学の特別支援教育講座教官による講義
授業実践の紹介
先輩保護者との座談会
施設見学
- ・会場：本校（年 7 回実施）
- ・参加：HPで広報し、参加募集をする。特に定員は設けていない

○児童生徒一人一人の発達の程度や特性を踏まえた個別指導を行っている。その際にできるだけ個別化を図るため、学生ボランティアによる学習支援員を活用している。学習支援員は、教員の指示のもとに担当児童生徒に対して指導に当たるようにしている。

地域において、現在、貴校はどのような存在であると考えますか：

○学校の性格上、狭い範囲での地域ではなく、広く県内全域を地域と捉えて、障害のある児童生徒の指導に関わる研究実践を毎年開催する公開研究会で発表し、県内の特別支援教育の充実・発展に寄与している。

○加えて、県内の障害のある幼児児童生徒に関わる教職員や教育関係者の専門性向上を目的に、毎年夏の1日を使った研修会を実施している。

【主な講座】

- ・よりよい教育相談の進め方
- ・特別支援学校における防災教育の実際
- ・発達が気になる幼児の理解と支援
- ・小・中・高等学校のユニバーサルデザイン
- ・特別支援学級における算数・国語の指導
- ・ICT機器、タブレットPCを活用した指導
- ・音楽療法の紹介と実践

附属学校の存在意義、貴校の存在意義について：

前述したように、本校は広く県内全域を地域と捉えて障害のある児童生徒の指導に関わる研究実践の発表を通して、特別支援教育の推進役を担ってきた。また、本校は視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病・虚弱、知的障害、言語発達障害、自閉症・情緒障害といった障害種ごとの県内研究会を束ねた宮城県特別支援教育研究会の事務局を務めて、宮城県の特別支援教育の中心的役割を担っている。さらに、東北特別支援教育研究会の事務局（本校に固定）も務めており、東北地区においても中心的役割にある。

このように、県内はもとより東北地区においての本校の役割は重要であると認識しており、今後も本校が先頭に立って特別支援教育の充実・発展の為に尽力していきたい。